

教員プロフィール

氏名：稲垣 郁哉（いながき ふみや）

職位：助教

学位：修士（保健医療科学） 文京学院大学大学院

資格：理学療法士・認定理学療法士（運動器）

専門分野：運動器理学療法学 スポーツ理学療法学

研究テーマ：身体運動の三次元動作解析 上肢 インソール キャリア

業績：

【学会】

- ・ [Fumiya Inagaki](#), Taiichi Koseki, Tsutomu Fujihara, Teturo Hiramaya, Kazuya Tame, Tomoko Kawasaki, Hirohisa Koseki, Yukisato Ishida, Fujiyasu Kakizaki, “Asymmetric effects of shoulder joint internal and external rotations on the thorax shape, scapular angle and humeral head deviation”. The 5th International Congress of Shoulder and Elbow Therapists (2016)
- ・ [稲垣郁哉](#), 小関泰一, 藤原務, 平山哲郎, 多米一矢, 川崎智子, 小関博久, 柿崎藤泰, “胸郭形状が肩甲骨角度に及ぼす影響—安静および等尺時の検証—”. 第13回肩の運動機能研究会 (2016)
- ・ [稲垣郁哉](#), 小関泰一, 藤原務, 多米一矢, 松田俊彦, 鴨下亮太, 矢島貴大, 増田稜輔, 小関博久, 財前知典, “手部横アーチが肩甲骨周囲筋に及ぼす影響—肩関節屈曲時およびハイハイ時の相似的筋活動様式の観察—”. 第5回日本運動器理学療法学会 (2017)
- ・ [稲垣郁哉](#), 中村祐太, 佐々木隆紘, 柴伸昌, “足袋に入谷式足底板を応用し長引く母趾痛が改善した舞踊家の一症例”. 第14回日本運動器疼痛学会 (2021)

【論文】

- ・ [稲垣郁哉](#), 中村祐太, 佐々木隆紘, 柴伸昌, “足袋に入谷式足底板を応用し長引く母趾痛が改善した舞踊家の一症例”. 理学療法科学, 36 (4) : 643-646 (2021)
- ・ [稲垣郁哉](#), 柴伸昌, “大胸筋ストレッチにより疼痛の破局的思考やうつ傾向も改善した両側上腕骨外側上顆炎の一症例”. 理学療法科学, 36 (5) : 743-746 (2021)
- ・ [稲垣郁哉](#), 柴伸昌, “入谷式簡易パッドにより膝関節痛が改善したランナーの一症例”. 理学療法科学, 36 (6) : 925-928 (2021)
- ・ [稲垣郁哉](#), 柴伸昌, “肩甲骨アライメントの修正により症状が改善した尺側手根伸筋腱鞘炎の一症例”. 運動器理学療法学, 第1巻 : 1-5 (2022)
- ・ [稲垣郁哉](#), 山口和人, 堀本ゆかり, “私立大学の理学療法士養成校学生におけるキャリア意識の実態調査”. 日本リハビリテーション教育学会誌, 7 (1) : 21-47 (2024)

【書籍】

- ・ ブラッシュアップ理学療法—88の知が生み出す臨床技術—, 三輪書店, p68-71 (分担)
- ・ 外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法, 医歯薬出版株式会社, p155-203 (分担)
- ・ 症例動画から学ぶ臨床歩分析～観察に基づく正常と異常の評価法【講義 Web 動画付き】 , 株式会社ヒューマン・プレス, p116-128 (編集協力・分担)

在学生にひとこと：理学療法は可能性ある素晴らしい分野です。ぜひ一緒に学んでいきましょう。